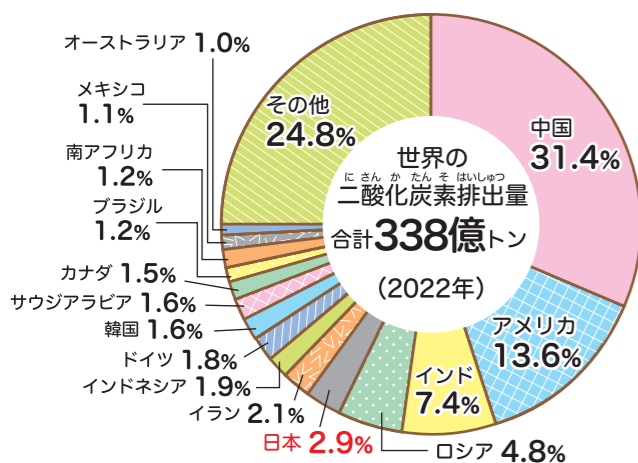


世界の状況

世界中で排出される二酸化炭素は1年間でおよそ338億トンと推定されています。国別の排出量は、中国が最も多く日本は5番目に多い約10億トンを出しています。

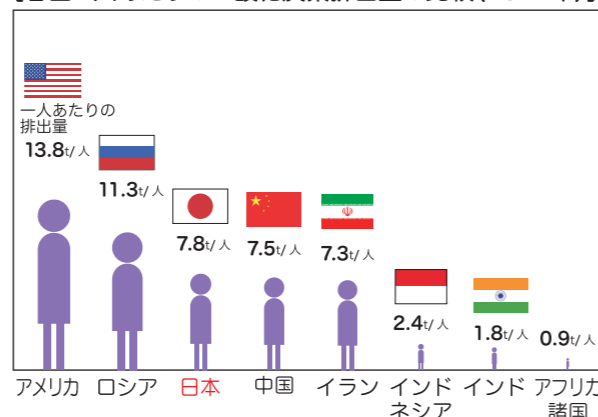
【世界の二酸化炭素排出量に占める主要国の排出割合(2022年)】



全国地球温暖化防止活動推進センター「世界の二酸化炭素排出量(2022年)」を元に作成

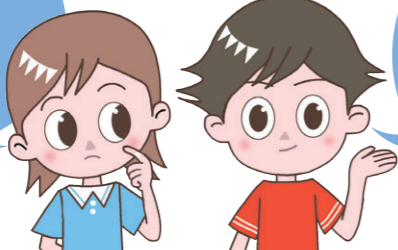
一人あたりの排出量でみると順位が変わってきます。アメリカが最も多く日本は3番目に多い7.8トンを出しています。

【各国一人あたりの二酸化炭素排出量の比較(2022年)】



全国地球温暖化防止活動推進センター「世界の二酸化炭素排出量に占める主要国の排出割合と各国の一人当たりの排出量の比較(2022年)」を元に作成

わたしたちの国は世界で何番目くらいに二酸化炭素を出しているのかな？



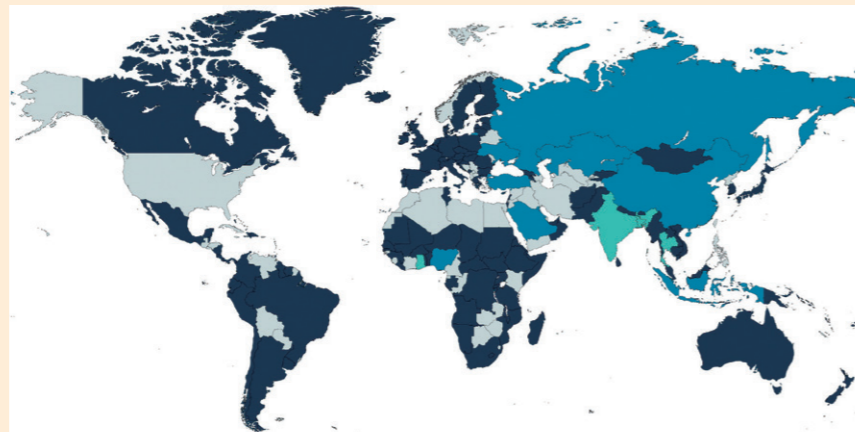
温室効果ガスを減らすために世界の各国で協力して取り組んでいくことが大事なんだね。

パリ協定

地球温暖化対策について、世界各国が温室効果ガスの削減目標を定めたものがパリ協定です。

パリ協定では、産業革命前からの地球の平均気温の上昇を2℃よりも十分低く、1.5℃までに抑える努力をすることや、21世紀後半までに脱炭素(カーボンニュートラル)社会にすることなどを長期目標としました。

カーボンニュートラルを表明した国・地域: 146か国(2025年2月13日時点)



- 2050年までのカーボンニュートラル表明国
- 2060年までのカーボンニュートラル表明国
- 2070年までのカーボンニュートラル表明国

出展: 経済産業省 日本のエネルギー-2024年版「エネルギーの今を知る10の質問」



わたしたちの目指す「脱炭素社会」

石油や石炭などの化石燃料は、エネルギーをつくり、これまで私たちの便利な生活を支えてきましたが、地球温暖化の原因である二酸化炭素の排出量を増やしています。

これから便利な生活と、二酸化炭素の排出量を減らすことを両立するためには、省エネに取り組んで使うエネルギーを減らすことや、物や電気などをつくる時に二酸化炭素が発生し

ない再生可能エネルギーの活用を進めること、二酸化炭素を吸収する森林などを保全することで、大気中の温室効果ガスのバランスをとることが大切です。

このような取り組みを進め、安全安心で、便利で快適な暮らしを維持・発展できる社会を「脱炭素社会」といいます。

今、世界の多くの国々が脱炭素社会の実現に向けた取り組みを始めています。

脱炭素社会のイメージ

まずは、省エネや再生可能エネルギーを活用することで、二酸化炭素の排出量をできるだけ減らしましょう！

それでも発生してしまう二酸化炭素については、森林や海洋など自然の力で吸収します。



再生可能エネルギーとは？

再生可能エネルギーとは、太陽の光や風など、自然界に限りなく使え続けるエネルギーのことです。

地球温暖化の原因となる二酸化炭素を出す量が少ないという優れた点があります。

再生可能エネルギーのなかまたち

- 「太陽光発電」**
 太陽光パネルが太陽の光を受け、電気をつくり出します。
- 「水力発電」**
 ダムなどから水が落ちるときにその力で発電機を回し、電気をつくり出します。
- 「地熱発電」**
 地中深くから得られた熱を利用して発電機を回し、電気をつくり出します。
- 「風力発電」**
 風の力で風車を回し、その回転運動を発電機に伝えて、電気をつくり出します。
- 「バイオマス発電」**
 木くずや生ごみなどを燃やした熱、発酵させて作ったガスを利用して発電機を回し、電気をつくり出します。



経済産業省資源エネルギー庁HP
「なっとく！再生可能エネルギー」



農林水産省HP
「再生可能エネルギーってなんだらう？」